



Support SE 愛LOVE友 Education

No.10

美瑛町立美瑛中学校 すだちの教室

2020年5月15日 発行

文責 特別支援教育コーディネーター三上山



努力しないと、厳しくしてもらえない

『つらいな』と思ったとき読む本 中谷彰宏著から引用

人は誰でも叱る側になれば、叱られる側にもなります。

めんどくさいと言ったり、ため息をつく人は、リーダーから仕事をはずされます。

説教をしてもらえなくなります。

『厳しいことばかり言われるんですけど』

『小言ばかり言われています』という悩みは、やがてなくなります。

言ってもらえなくなります。説教や厳しいこと、小言を言うにも努力が必要です。

努力しないと叱ってもらえないのです。叱ってもらうのは、権利です。

努力をして初めて叱ってもらえるのです。

『叱られる』という言葉には、『サボったから叱られた』というマイナスのイメージがあります。

『もう叱られない。なんで私はこんな厳しいことを言わせなきゃいけないの』というのは、

すべての人が厳しいことを言われると思いついています。

すべての人は言われません。

言われるのは最初のほんの短い期間だけです。

努力している人が、1番厳しいことを言ってもらえるのです。

厳しいことを言うってもらうために努力するのです。

これが努力の仕方です。

努力したら叱られなくなるわけではありません。

叱られるために頑張るのです。

そうして人間は成長していくのです。

バージョンアップされるのです。

努力しなければ、叱ってすらもらえなくなります。

叱ってもらえる期間を過ぎたら、叱ってもらえるどころか、諦められます。

『なんでこんなこともできないんだ』といわれているうちはいいのです。

言われる人に、すぐに交代させられます。

これが学校と社会の違いです。

学校は、いつまでも叱ります。社会は叱りません。

これが大人のルールです。

インターナショナルルールであり、宇宙のルールなのです。叱ってもらうために、努力しよう。

格好よく歳をとりたいなあと思いつつ、叱ってもらえる努力をこれからも続けていきます。

いつも生意気な弟が、ひらがな覚えてじまんとして
覚えたてのきつない字の手紙をくれ、
見ると「いつもありがとう」の一言、ありきたりだけどなぜか感動。
岩崎 莉央(富山県立山町 中学校2年生)

幸福のありかは、どこにあるのでしょうか。
幸福かどうかを感じる時はどんな時、どんな場面なのでしょう。
それは、私にとっての幸福で、あなたの幸福とは違います。自分が幸福と感じていても、他人はそれとは感じないことは当然あるわけで、それを理解してあげることで、少しだけ大人になった気分になります。
そんなテーマで、色紙に書き込んでみました。何度も何度も書いてみました。書きながら、何度も問い直してみています。自分に問い直すことで、見えてくることがあります。あなたにとっての幸福のありかはどこにありますか？

